

令和元年の師走。平成から令和の新時代を迎えた一年間を振り返り、新年を迎える準備をしてまいりたいと思っております。

村の各事業につきましては、村民の皆様の多大なる御協力のお陰をもちまして順調に進展できたと感謝しております。特に、今年は立村130年記念の年ということでいろいろな事業を実施してまいりました。

はなのき会館の大規模改修の完成を待って、9月には郷土歌舞伎の記念公演、ふるさとコンサート、保育園の親子運動会では未来永劫の発展を願って園児たちが青空にたくさんの風船を飛ばしてくれた光景が目に焼きついています。10月には三遊亭円楽師匠の文化講演会、文化祭、秋フェスタと続き、24日には記念式典を開催致しました。どの行事も立村130周年の思いを込めながら、村民の多くの皆様に参加いただき盛況で終えることができました。

遡って、5月の第30回目の開催となった「つちのこフェスタ2019」は過去最高の4千人を超える参加者となり、大盛況でした。大きな事故も無かったので安堵した訳ですが、運営面で多くの課題が浮き彫りになりました。会場設営や参加者の取りまとめなど、来年度は対応してまいりたいと考えております。手始めに、平の「高橋」の安全性を高める工事を来年3月までに実施をする予定でおります。

6月の電波の日には、小中学校のタブレット端末の整備やフォレストスタイル事業の成果が評価されて、東海総合通信局長表彰を受賞できました。この事は今までの関係者の皆様の努力が認められた訳で大変嬉しいことでした。現在もCATVの光ファイバー化事業の工事が完成を目指して順調に進んでいます。

10月には国保診療所と介護老人保健施設が、構想から6年の歳月をかけて完成したのも今年の大きな出来事のひとつでした。関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。多くの方々の英知を集めて建設しましたが、使ってみると不都合なことも多々出てくると思います。御意見をお寄せいただいて更に利用しやすい施設となるよう改善してまいります。

行事や建設事業についてのみ紹介しましたが、人口減少と農林業の不振など課題は山積しており、前途は「洋々」ではなく「多難」です。気を引き締めてまいります。

今年1年間の皆様の村政に対する御協力に感謝申し上げますとともに、来る新年が皆様にとって幸多い年でありますようお願い申し上げます。

令和元年12月

東白川村長 今井俊郎